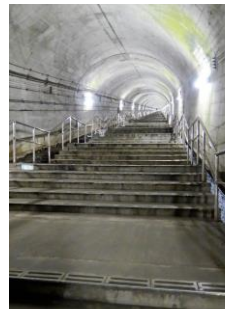
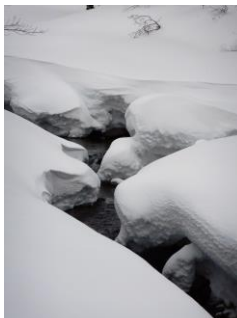




山名： 谷川岳山麓スノーシューハイク（群馬県みなかみ町）

入山日：平成 30年 2月 12日(月) 小雪/曇り メンバー・報告者： 岩田

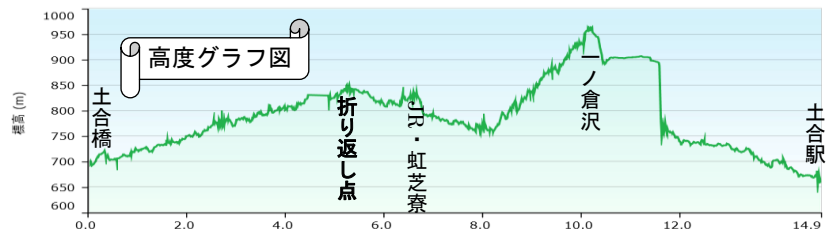


写真：上段右から反時計回りに①最奥部折り返し点 ②一ノ倉沢、衝立岩・烏帽子岩 ③一ノ倉沢 ④湯檜曾川上流 ⑤土合駅 下り線の階段 462段 ⑥来てよかった 17時58分土合発下り電車

【電車・バス】7:02 大宮⇒たにがわ 401号 6-20C⇒7:53 上毛高原 8:00(バス)⇒8:39 土合橋

9:00 土合橋 700m⇒マチガ沢⇒9:54～10:20 一ノ倉沢出合⇒10:30 幽ノ沢⇒11:45～12:02 折り返し点 833m ⇒14:45～15:05 一ノ倉沢 960m⇒マチガ沢⇒土合橋⇒16:55 土合駅 663m 計7時間55分 14.9km

【電車】17:58 土合⇒18:22 越後湯沢 18:51⇒たにがわ 196号⇒19:50 大宮 10分遅れ



感想：土合橋バス停で降り、スノーシューを履き、土合橋から湯檜曾川右岸沿いに上流を目指して歩く。積雪 2m 程で雪は適度に硬めで、スノーシューは歩きやすい。アップダウンは少なく順調に一ノ倉沢出合に着き、カタカタカタとキツツキが歓迎のドラムをたたいていた。さらに奥へ行くとトレースは無くなり、地図では岩場のトラバース有りの地点手前まで来た。右手に湯檜曾川が、左手に雪の急斜面が迫り、その斜面をトラバースするしかないが、ちょっと手ごわそう。ちょうどお昼で一休みしてここで折り返すことにした。

復路では斜面の 30m 程上にある JR 見張小屋と虹芝寮まで様子を見に行っただけ。ひとけは無く三四人は泊まれそうな大きな“かまくら”があった。一ノ倉沢出合から岩壁を目指して奥へ進んだ。眼前に迫る衝立岩、烏帽子岩は大迫力で、岩壁に吸い込まれそうな感じがする。積雪期の沢は歩きやすく岩壁取付きまでアプローチしやすい。二十分ほど眺めたり写真を撮ったりしていたら体が冷えてきたので、急いで帰ることにした。今日一日誰にも会わず静寂の中のスノーシューハイクであった。

土合駅では 17時19分発の上り電車を待ったが時刻を過ぎて来ない。無人駅だからアナウンスは無く、若いボーダーが電話で問い合わせ結果、新潟県内の豪雪により運休と分かった。一瞬焦ったが急いで“日本一のモグラ駅”の長い地下階段 462段を駆けくだり、下りホームへ降りた。17時58分定刻に長岡行き電車が来て、ひと安心した。反対方向だが越後湯沢まで乗り、上越新幹線に乗り換えて無事帰宅することができた。

以上